

平成 29 年度九州沖縄地区国立高等専門学校技術職員研修報告

第三技術班 崎 村 誠

1. はじめに

九州沖縄地区高専の技術職員に対して、一般的知識、技術に関する専門的知識等を習得させ、技術職員の資質の向上を目的する本研修に参加した。

2. 研修日報

平成 29 年度の研修は、機械系、材料系、電気・電子系分野の技術研修が計画され、研修期間は平成 29 年 8 月 23 日(水)から 8 月 25 日(金)の 3 日間で、熊本高専八代キャンパスにて実施された。日程は以下の表に示すとおりである。

8 月 23 日 (水)	8 月 24 日 (木)	8 月 25 日 (金)
開講式 【技術課題等の発表及び自由討議】 ・ 情報交流会	【講義Ⅰ】 「情報セキュリティについて」 【講義Ⅱ】 「技能検定と科研研究費・奨励研究の取組紹介」 【実習】 「ものづくり体験講座」 ・ ポップアップアート ・ 黄銅製ひょうたん ・ プラ板竹とんぼ 【施設見学】 実習工場、3Dプリンタ室	【研究室見学】 「専攻科目棟-1」 【講義Ⅲ】 「高専を取り巻く状況」 閉講式

3. 研修内容

3. 1 技術課題の発表

今回「実習工場の運営について」という題目で発表を行った。発表後、参加者の反応も良く感じた。全体の発表については他高専並びに職員の特色が見られ、課題に直面した際の対応のやり方は参考になった。また、電気・電子系や建築の方の発表もあり興味深かった。技術職員として幅を広げる為にも他分野への挑戦も必要だと感じた。

3. 2 技能検定と科研研究日・奨励研究の取組紹介

技能検定試験を研修直後に控えていたこともあり非常に参考になった。講師の方は職業能力開発協会やポリテクセンターを有効利用されており、技能向上に対する強い意志を感じた。発表内に科研に関する内容が有り今後の参考にしたい。

3. 3 実習、施設見学

ものづくり体験講座では、どの講座も夏の暑さを忘れるほど没頭し、またその制作物も参考になるものが多く、おもしろ実験や出前実験等で参考にしたいものが多々あった。また施設見学の際に職員の方とお話する機会があり、設備の選定、管理や技能の継承、八代キャンパスの歴史も聞け、有意義な時間であった。

4. おわりに

今回の研修は収穫が多く、今後の技術職員としての展望も見え、私にとって価値ある研修となった。本研修の参加は今年度計画に入っておらず、予定していた技能検定試験の準備と並行して、研修準備を行うこととなった。残念ながら技能検定は実技試験が不合格となってしまったが、本研修で得た収穫もあり、良い夏を過ごせた。具体的な収穫はというと工場運営についての発表資料作成をしたことにより工場運営のルール、実習工場全体と実習工場ならびに技術室の沿革も知ることが出来た。更に八代キャンパスや他校の技術職員と交流でき、また新しい見方が出来るようになったと感じる。他、研修参加者の様々な新しいことにチャレンジする姿勢は私の技能向上の意欲を刺激した。専門にこだわらず自己研鑽に努めていきたい。